

津絵 太陽

① クロッキーが作品に活かされた、と感じた瞬間はありますか？

特に時間のかかる大きな作品を描く際に、画面を流れて大きく捉える感覚が、全体のバランス把握に役立っていると感じています。

② どんなクロッキーをやってみたいですか？（素材、サイズ、時間、モデルの設定など）

様々なサイズや時間で制作してみたいです。状況の変化によって画面の内容がどう変化するか、楽しんで描いてみたいです。ただ、素材はシンプルな素描の材料が好みです。

③ クロッキーに欠かせない要素とは何だと思えますか？

即断即決で動くこと。

④ クロッキーの醍醐味は何だと思えますか？

タブローよりも仕上げのタイミングを決める自由度が高く、完成度が必ずしも制作時間に比例しないという緊張感。

⑤ どういう時にクロッキーをやりたくなりますか？

細かな描写の制作が続いたあと、運動不足解消でウォーキングするような感覚で、取り組みたくなることがあります。

⑥ 公開クロッキーを通して発見した、または再認識した事柄はありますか？

形、色など、短時間で印象を捉えることの難しさを改めて思いました。

⑦ 普段の制作の中においてこだわりを持っているポイントはありますか？

無駄のない仕事をする事。ただし必要なことは必ずやる事。

⑧ クロッキーをする上で、こだわっているものはありますか？

手癖や慣れで描かない事。常に新鮮に対象を観察すること。

⑨ 逆に意外とこだわりのないものはありますか？

ポーズやコスチュームはなんでもよく、その時の状況次第でなんでも描いてみようという感じですか。